



講師の中野晃一さん、ゲストの大河原まさこさん（前参議院議員／東京・生活者ネットワーク元代表委員）を囲んで。生活者ネットの都議、区議、市議たち。2016年2月2日。西新宿

中野晃一さんを招いて「新春のつどい」開催！ 日本政治の右傾化と市民 社会の新たな連帯のかたち

2月2日、「東京・生活者ネットワーク新春のつどい」第一部。中野晃一さん（上智大学教授）を招いての基調講演の演題は、「日本政治の右傾化と市民社会の新たな連帯のかたち」。

安倍政権は今年で終わるだろうー新春のつどい第一部の講演冒頭で中野晃一さん（上智大学教授）が発したフレーズだ。

日本は少数派による右傾化、民主主義の空洞化が進んでいるが、しかし、賞味期限切れの安倍さんが自壊し退場し

てもこの政治状況は容易には変わらない。この動きは世界と連動しているから。90年代から始まり、20年かけてここまで来てしまった。

冷戦が終わり90年代後半へ。新ガイドライン、周辺事態法といった対米追随路線への転換と、新しい教科書をつくる会や日本会議などの歴史修正主義が始まり、戦後生まれの自民党議員へと世代交代していく。この中に安倍首相もいた。2000年代には小泉構造改革と相まって強固な日米関係が出来上がり、第1次安倍内閣では教育基本法が改正された。07年から政権交代の気運が高まり、09年に自民党から民主党へ。実質初めての政権交代が行われたが、わずか3年で政権への信頼は失墜。同時に社民党の衰退や自民党保守派の衰退に拍車がかかり、リベラル勢力が信頼を失っていく。再び安倍政権となる

も、この間の国政選挙の得票率は高々13%程度。にもかかわらず、今の選挙制度では、自民

品川ネット

安倍政治を止める！講演とトークセッション
自民党憲法改正草案の「正体」を見据える！
4月11日（月）18：30～20：40 きゅりあん5階第2講習室（大井町駅） 講師：金子匡良（神奈川大学准教授） ゲスト：大河原まさこ（前参議院議員／元東京・生活者ネット代表委員） 500円 主催：大河原まさこと勝手に連帯する@大田TEL03-6424-7561／大河原まさこと勝手に連帯する品川の会TEL03-5751-7105／大河原まさこさんを再び国政へ勝手連目黒TEL03-3791-8069

世田谷ネット

夏の選挙に向けて『ニッポンの政治』について、おさらいしよう!! 初めて投票するあなたから、今さら聞けない…あなたまで
5月14日（土）14：00～16：00 北沢タウンホール第1・2集会室（下北沢駅） 中野晃一×大河原まさこ×保坂展人 TEL03-3420-0737

杉並ネット

国政フォーラム・電力自由化!なにで選ぶ?値段?電源?それとも…?
5月15日（日）14：00～16：00 西荻南集会所第1・2集会室（西荻窪駅） 大河原まさこ×竹村英明（緑茶会代表） TEL03-5377-5080

安倍政治を止める！ 市民の声が届く政治へ

党が勝ってしまう構造だ。日本政治は厳しい状態にあるが、中野さんは、一方でこれまでにないあたらしい市民運動の広がりがあることに注目したい。3・11以降の原発・放射能汚染問題が市民の参加を促した、と説く。かつての運動にみられるような同一性でつながるのではなく、多様性・他者性を認め合い、それを前提に一緒にやっていく。それが、安保法制に係る一連の運動へとつながり、SEALDsやママの会を生み出し、学者の会も連動、既存の平和運動とも連帯するなど、別々に活動していた運動体が緩やかに共闘する総がかり行動へと広がりを見せている。

これまで平和運動に係わってきた人たちは「民主主義を取り戻す」と言ってきたし、言いがちなだが、SEALDsや総がかり行動で中心的に活動する若者たちは、壊れたら「つく

ることから始める」と明快だ。感心するのは彼・彼女らが「伝える」行為を大事にしていること。ネガティブ・キャンペーンではなくポジティブなメッセージを打ち出すことに力を注ぎ、時間をかけて考える。それは他者に対するリスペクトがあるから。彼・彼女らは相手にチャンネルを合わせること忘れられない。若きあたらしい社会運動が芽吹いている。そういう力とリベラル・市民が連帯して、政治の世界に市民の声を届ける人を送り出すことが大事だ——と、講演は結ばれた。

一方、安倍首相は、夏の参院選では改憲を掲げ、発議に必要な3分の2の議席確保をめざす考えを鮮明にした。自民党憲法草案の9条には自衛権と「国防軍」の保持が明記されている。東京・生活者ネットワークは、戦争の世紀といわれた20世紀に時計の針を戻さないために、参議院「比例代表選挙」に挑戦する大河原まさこさんとともに全力で戦い、「市民の声が届く政治」をつくっていく。

生活者ネットワークは都内35の自治体にあり、それぞれの地域課題に取り組むと同時に、市や区を超えた東京問題・国政問題には全体で取り組んでいます。東京を生活のまち、安心・共生・自治のまちにするために発言を続けます。

生活者ネットワーク3つのルール

- 1 議員は交代制（ローテーション）**
生活者ネットワークの議員は、最長でも3期12年で交代します。議員を職業化・特権化せず、世代交代を進めることで参加の層を広げます。任期を終えた議員は、市民政治を広げるための活動や地域活動などに、その経験を活かします。
- 2 議員報酬は市民の政治活動資金に**
生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。議員報酬は、市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開し、政治資金の透明化をはかっています。
- 3 選挙はカンパとボランティアで**
選挙は、政治に参加する入り口です。みんなでお金（カンパ）と知恵や労力（ボランティア）を出し合い、選挙を行います。